Richell for babies

〈取扱説明書〉

サンパ
93669

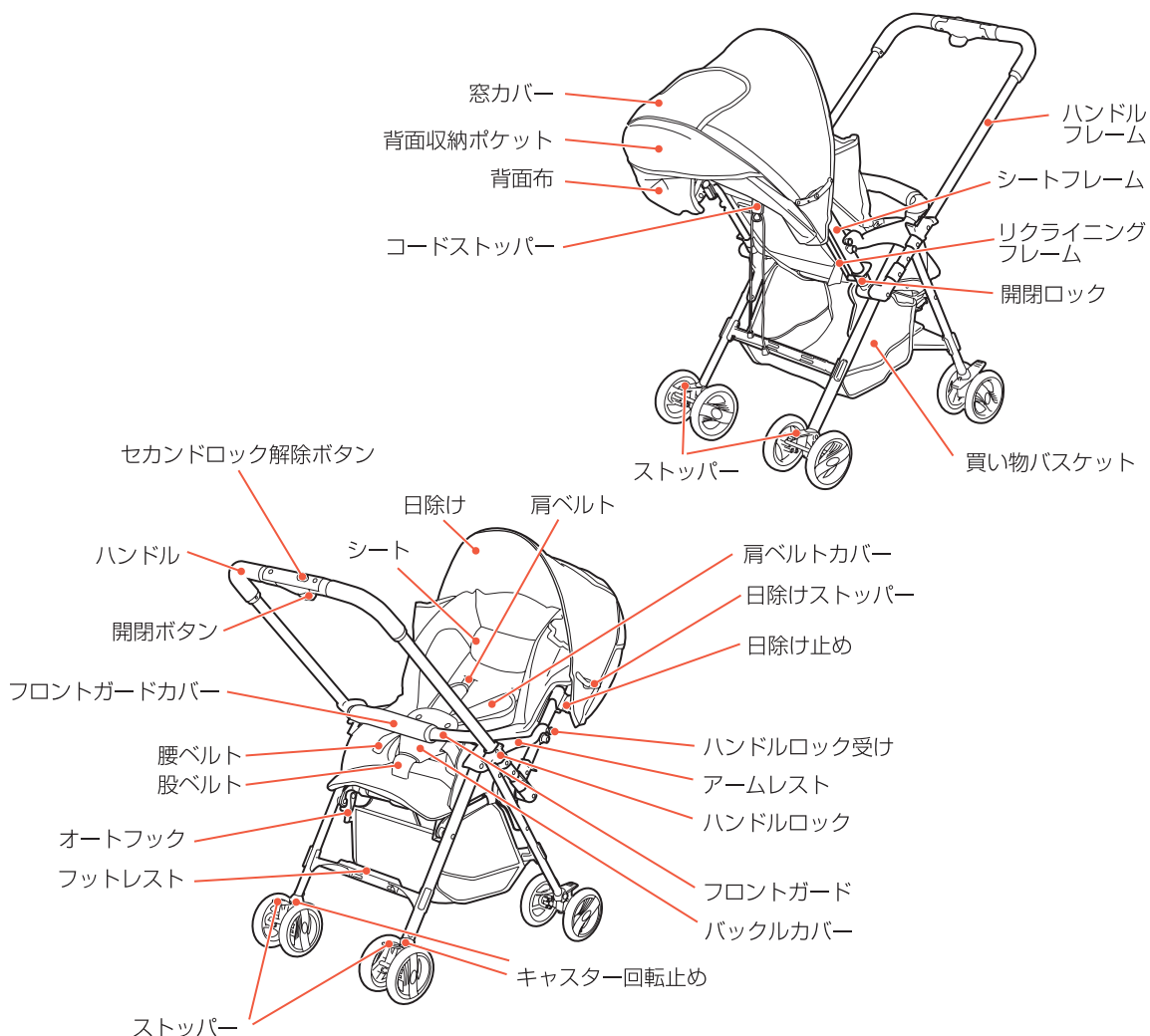
　このたびは、リッチェル製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用の前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。
本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどをわかりやすくするため現物とは多少異なることがあります。本品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書も併せてお渡しください。

ご使用の前に

●対象月齢…生後1カ月～36カ月まで（体重目安15kgまで）
●望ましい連続使用時間…寝かせた姿勢で2時間以内
　　　　　　　　　　　　座らせた姿勢で1時間以内
●買い物バスケット耐荷重…2kgまで

各部の名称

窓カバー
背面収納ポケット
背面布
コードストッパー
ハンドルフレーム
シートフレーム
リクライニングフレーム
開閉ロック
ストッパー
買い物バスケット

セカンドロック解除ボタン
日除け
肩ベルト
シート
ハンドル
開閉ボタン
フロントガードカバー
腰ベルト
股ベルト
オートフック
フットレスト
ストッパー
肩ベルトカバー
日除けストッパー
日除け止め
ハンドルロック受け
アームレスト
ハンドルロック
フロントガード
バックルカバー
キャスター回転止め

安全上の注意

○記号の説明

この取扱説明書は、製品を安全に使用していただくために特に守っていただきたいことについて、次のマークで表示しています。各マークの意味を十分理解されたうえで使用していただきますようお願いいたします。

⚠警告 …取扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を負ったり、物的損害につながるおそれのあるもの。

⚠注意 …取扱いを誤った場合、軽度の傷害を負ったり、物的損害につながるおそれのあるもの。

重要 …取扱いを誤った場合、製品の故障・損傷・早期寿命などを招くおそれのあるもの。

…してはならない禁止事項。

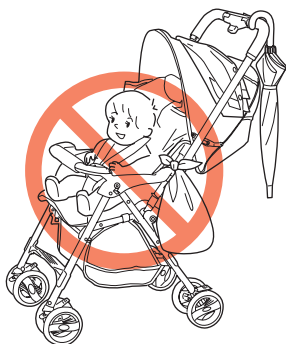
⚠警告 必ずお読みください。取扱いを誤ると重大な事故につながりますので必ずお守りください。

●本品の分解・組立て・改造はしないでください。

●**必ずシートベルト（肩ベルト・腰ベルト・股ベルト・バックルカバー）を締めて使用してください。**

●**乳幼児がベビーカーの中で立ち上がらないように肩ベルトと腰ベルトの長さを調節して使用してください。**

●肩ベルトが長すぎると、首に巻き付くおそれがありますので注意してください。

●シートベルトを締めていても立ち上がる場合がありますので注意してください。

●乳幼児を乗せた状態で、買い物バスケット以外に**荷物を載せたり、吊るしたりしないでください。**左右や後方に転倒したり、車体のフレームが破損したりするおそれがあります。

●乳幼児を乗せたまま、**ベビーカーを持ち上げないでください。バランスを崩したり、足下が見えなくて転倒したりするおそれがあります。**

●乳幼児を二人以上同時に乗せたり、乳幼児をシート以外のところに乗せたりしないでください。

●**乳幼児や子供にベビーカーを絶対に操作させないでください。**

●**ベビーカー使用時は開閉ロックが確実にロックされていることを確認し、乳幼児や子供に操作させないでください。**

●乳幼児を乗せる用途以外では、使用しないでください。

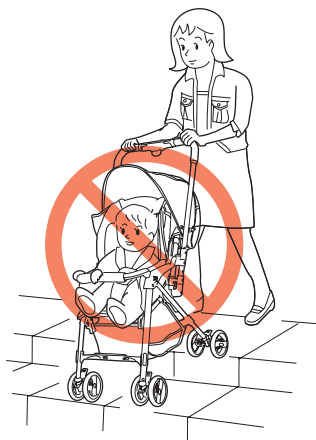
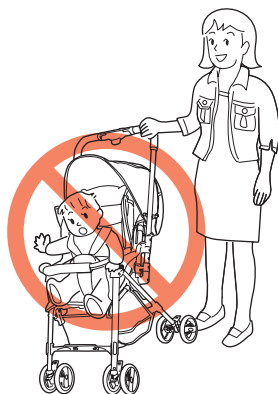
●**ベビーカーの開閉時には、乳幼児や子供を周りに近づけないでください。**

●**乳幼児を乗せたまま、ベビーカーから離れないでください。**ベビーカーが勝手に走り出したり、転倒したりするおそれがあります。**ベビーカー使用時は保護者や介添者が必ずそばにいてください。**常に乳幼児から目を離さないでください。

●後輪ストッパーは左右とも確実にかけてください。

●乳幼児を乗せたときには、**後輪ストッパーを過信しないでください。**（構造上、自動車のブレーキのような安全なものではありません。）

安全上の注意

⚠警告 必ずお読みください。
取扱いを誤ると重大な事故につながりますので必ずお守りください。

●保護者や介添者が、ベビーカーに腰掛けたり寄りかかったり、また、過度の荷重をかけないでください。
ベビーカーの破損や移動しケガの原因となります。
●**前輪を持ち上げた状態で走行しないでください。**
フレームの曲がりや折れの原因になり大変危険です。
●**過激な荷重や衝撃が加わった場合、また、破損・異常を発見した場合は使用しないでください。**
●ハンドルを切り替えるときには、お子様がアームレストに手をかけていないことを確認してから行ってください。
指や手をはさむおそれがあります。
●フロントガードを引っ張って使用したり、振りまわしたりしないでください。破損のおそれがあります。
●フロントガードに過度の力を加えないでください。
また必要以上に広げたりしないでください。

●**階段・エスカレーターや段差のあるところでは使用しないでください。**転倒や破損によりケガをするおそれがあります。
●**ぬかるみや砂地などの悪路では使用しないでください。**
転倒や車輪が異常音を発したり、動きが悪くなったりするおそれがあります。
●踏切では、線路に車輪がとられないように注意して渡ってください。
●**雷のときには使用しないでください。**落雷のおそれがあります。
●ベビーカーは空車であっても坂の途中や車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。
●火気や熱源の近くに放置したり、炎天下の車内やトランクに放置したりしないでください。
ベビーカーが高温となり、ヤケドしたり、変形・変質したりしてケガをするおそれがあります。

⚠注意

●本品を**電車などの中では使用しないでください。**
●ベビーカーの開閉操作をするときは、**指などをはさまないように注意してください。**
●乳幼児を乗せるときや降ろすときは、必ずストッパーをかけた状態で行ってください。
●日除けをたたむ際、**乳幼児の指などをはさまないように注意してください。**

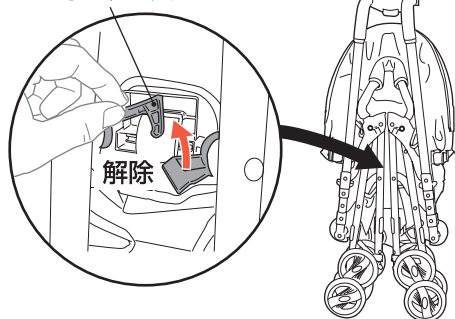
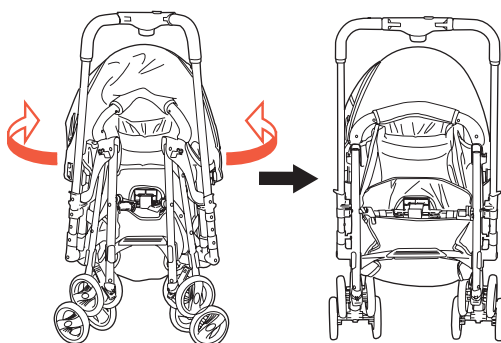
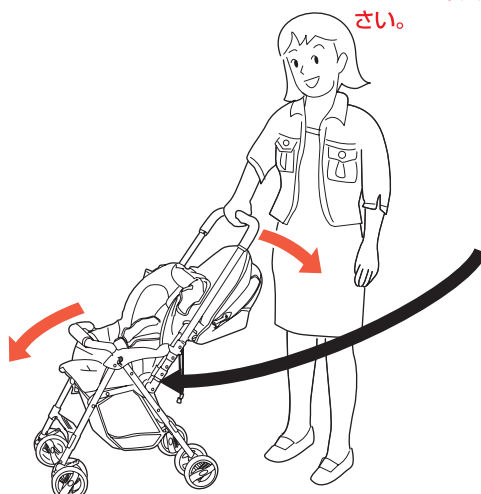
重要

●直射日光を避け、湿気が少なく雨やホコリのかからないところで保管してください。

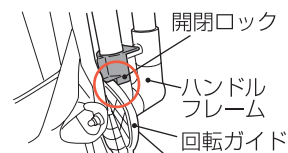
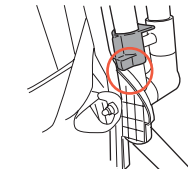
点検のお願い

●ご使用の前に、
・前輪および後輪ストッパーで車輪の回転がロックできること
・全体にがたつきや部品の外れがないこと
・ネジの緩みや部品の消耗、素材の破れや縫い目のほころびがないこと
を確認してください。
●ネジの緩みは、ドライバーでしっかり締めなおしてください。
●車輪からきしみ音が発生したり回転が重くなったりした場合は、汚れをふき取った後、軸部に市販の潤滑油（シリコーンオイルなど）を少量注油してください。（15ページ お手入れ方法 を参照してください）
●異常がなおらないときは、リッチェルお客様相談室（16ページを参照してください）にご連絡ください。

ベビーカーの開き方

1 オートフックを外します。

2 ベビーカーを左右に開きます。

3 ハンドルを持ち上げて手前に引くとベビーカーが開きます。

⚠注意

●ベビーカーを開く際、**指はさみなどに十分注意してください。**

●乳幼児を乗せる前にベビーカーが完全に開き、開閉ロックが**確実にロックされていることを確認してください。**

ハンドルの切替え方

①左右のハンドルロックを上に引き上げ、ロックを解除します。
②ハンドルを向きを変えた側のロック受けにしっかりとロックします。
　ハンドルを切り替えた後、次の点を確認してください。
　●左右のハンドルロックがロック受けにかかっている。
　●ハンドルを上下させても動かない。

対面位置　②　**背面位置**

ハンドルロック受け

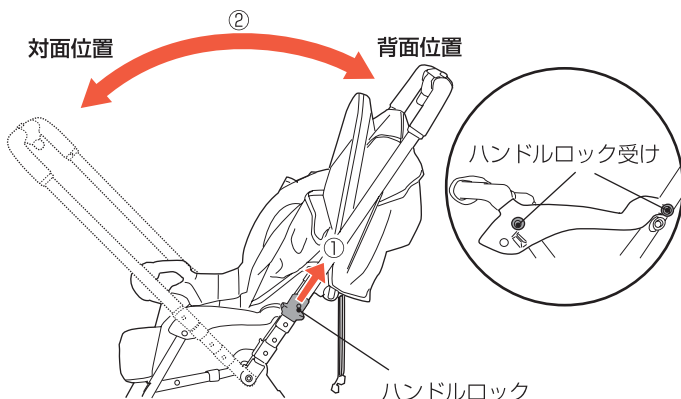
①

ハンドルロック

⚠警告

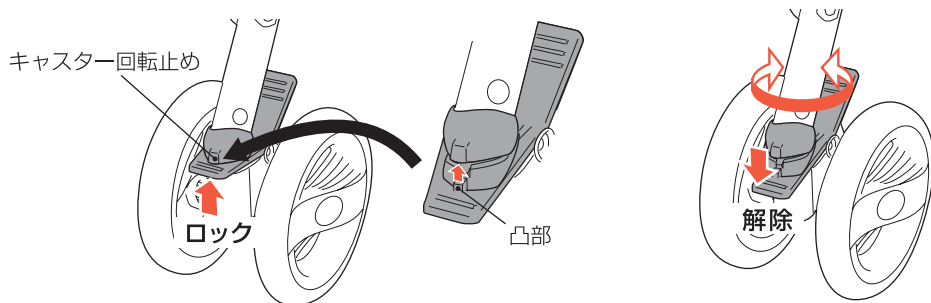
●ハンドルを切り替えるときは、乳幼児がアームレストに手をかけていないことを確認してから行ってください。指や手をはさむおそれがあります。

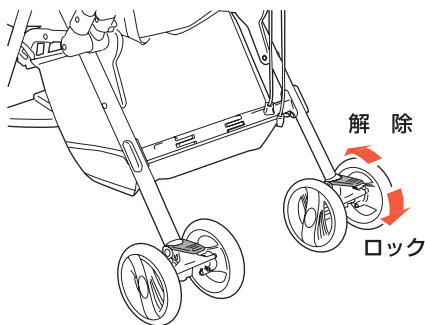
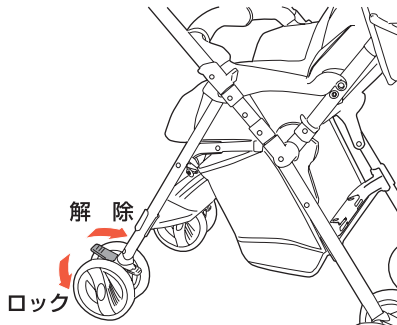
⚠注意

●ハンドルを切り替えるときは、乳幼児の正面側から乳幼児の様子を確認しながら操作してください。
●ベビーカーを押しながら操作しないでください。
●ハンドルが背面位置のときのみ車体を開いたり、たたんだりできます。
●車体を開いたりたたんだりするときには、ハンドルロックは操作しないでください。製品が故障するおそれがあります。

キャスター回転止めの使い方

キャスターの回転止めは、車道側に少し傾斜した歩道や砂利道など、ハンドルがとられやすい道での使用に適しています。必要に応じて使用してください。ハンドルを対面位置にして走行する場合はロックしないでください。

○ロック（キャスターが回転しません）
凸部がキャスター回転止めに、はまり込むように押し上げます。

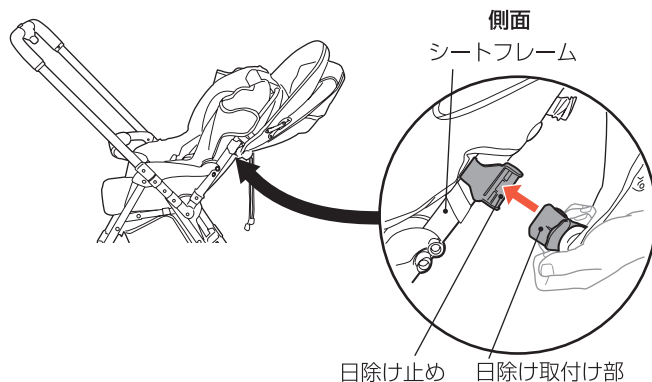
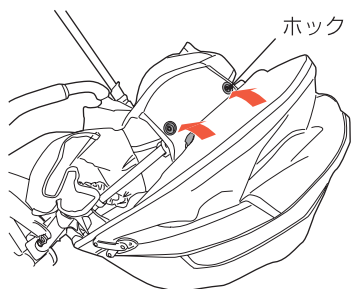
○解除（キャスターが回転します）

ストッパーの使い方

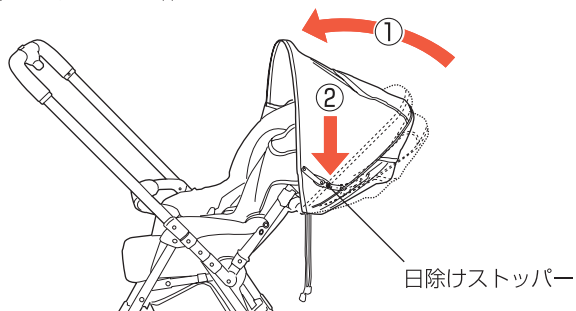
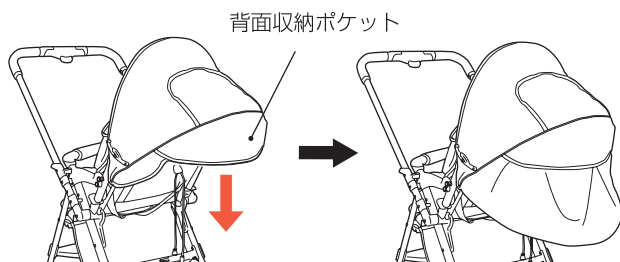
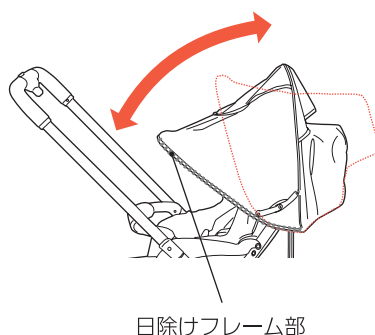
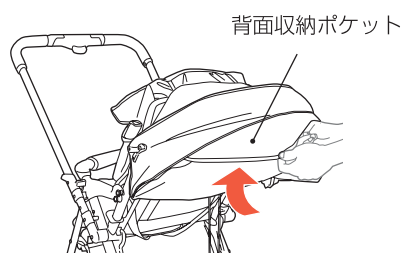
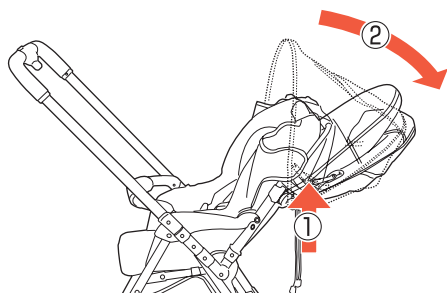
○左右のストッパーをそれぞれ下げてロックします。
解除するときは、ストッパーを上げます。対面走行のときは、前輪側のストッパーをお使いください。

背面時

対面時

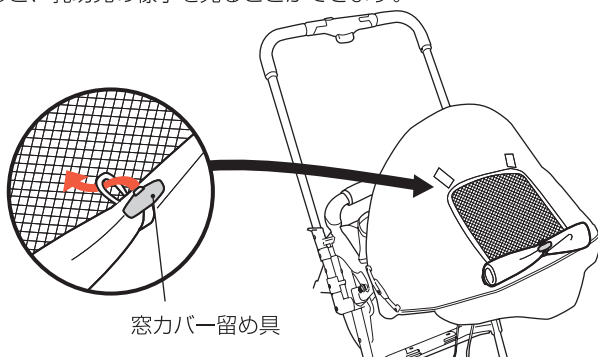
日除けの取付け方

1 ハンドルを対面位置にします。
(4ページ ハンドルの切替え方 を参照してください)

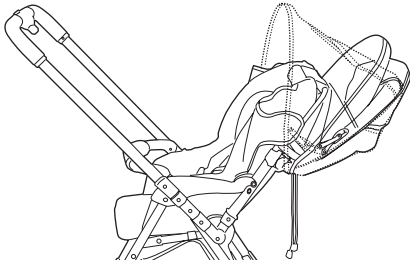
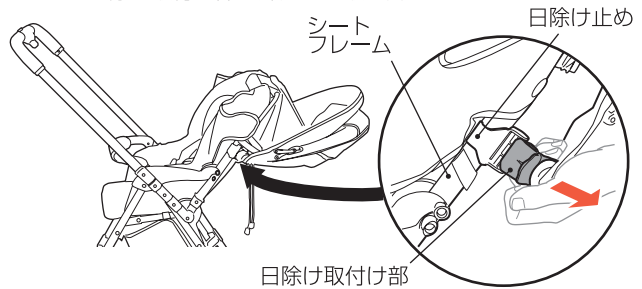
3 背面布のホックを背もたれに留めます。

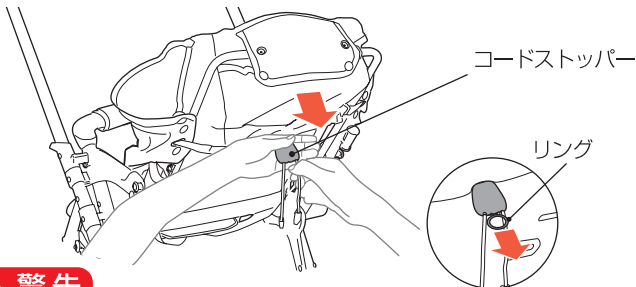
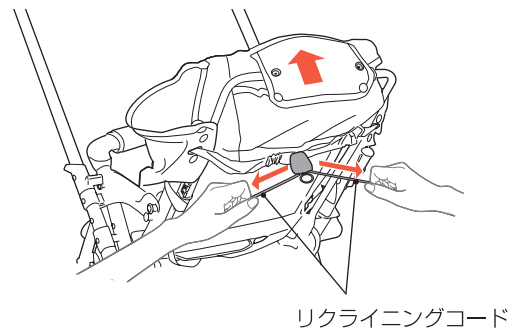
2 シートフレームの日除け止めに日除け取付け部を片方ずつはめ込みます。

日除けのサイズの変え方

●小さいサイズで使用するとき
日除け前部を広げて左右の日除けストッパーを伸ばします。

●大きいサイズで使用するとき
背面収納ポケット内側から日除け後部を出して広げます。

●日除けの角度を調節するとき
日除けフレーム部を持って前後に動かします。

●日除けを収納するとき
左右の日除けストッパーを折り曲げ、図のようにまとめます。日除け後部を背面収納ポケット内側に差し込みます。

窓カバーの留め方

○窓カバーを丸め固定すると、乳幼児の様子を見ることができます。

日除けの取外し方

※シートカバーの着脱で日除けを取り外しても、使用する前に必ず日除けを取り付けてください。思わぬケガをするおそれがあります。

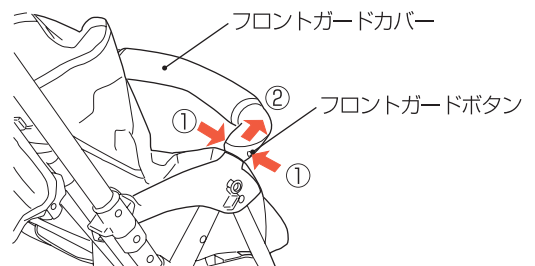
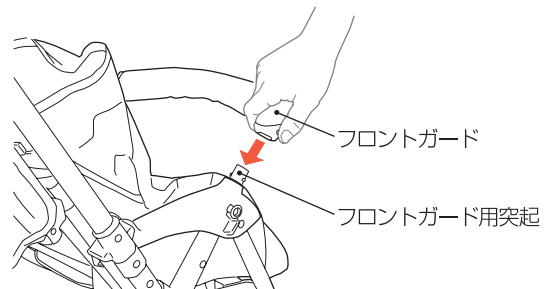
1 日除けを収納し、ハンドルを対面位置にします。

2 背面布のホックを外し、シートフレームの日除け止めから日除け取付け部を片方ずつ取り外します。

リクライニングの使い方

○シート背面のコードストッパーのリングを手前に引きながら、シートの背もたれを徐々に倒します。

○リクライニングコードを左右に引っ張ることにより、シートの背もたれが起き上がります。

⚠警告

- ●リクライニング操作時は乳幼児や子供を周りに近づけないでください。
- ●乳幼児を乗せたままリクライニング操作するときは、背もたれ角度が急激に変わらないようゆっくりと行ってください。

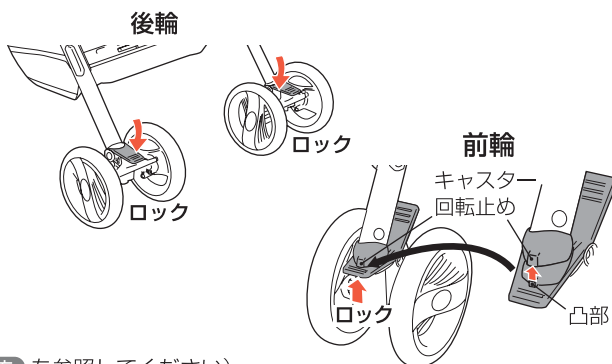
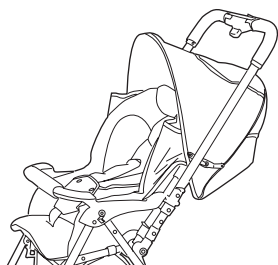
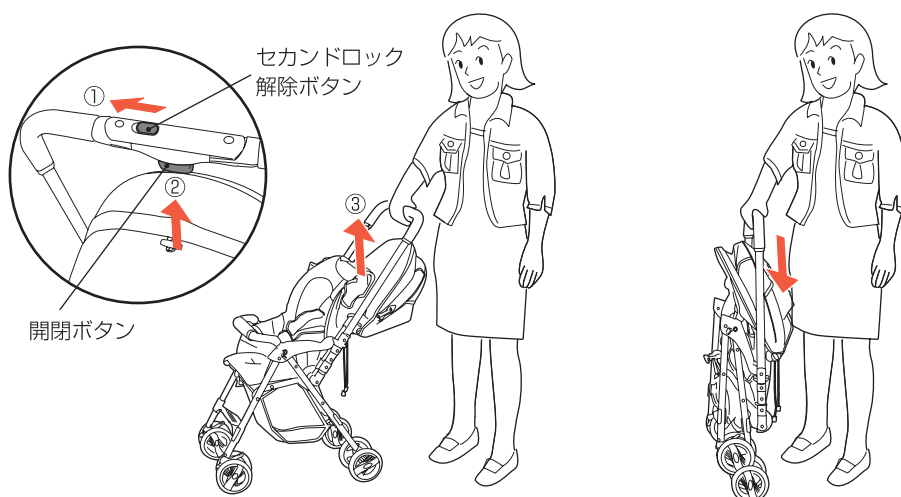
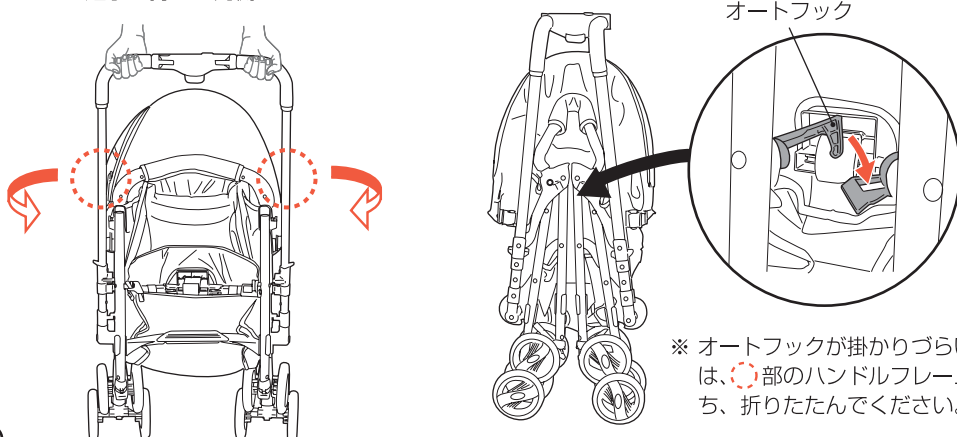
フロントガードの使い方

●フロントガードを開くとき

①2つのフロントガードボタンを矢印方向に押しながら
②フロントガードを前方に引き抜きます。
フロントガードの開閉ができるのは正面から見て左側だけです。

●フロントガードを閉じるとき
フロントガード用突起にあわせてカチッと音が鳴るまで押し込みます。

●フロントガードカバーの取外し方
フロントガードを開き、フロントガードからフロントガードカバーを引き抜きます。

ベビーカーの折りたたみ方

1 ハンドルを背面位置にします。
（4ページ ハンドルの切替え方 を参照してください）
リクライニングを起こした状態にします。
（7ページ リクライニングの使い方 を参照してください）

2 左右の後輪ストッパーをロックした後、左右の前輪キャスター回転止めをロックします。

3 日除けを収納します。（6ページ 日除けのサイズの変え方 を参照してください）
①セカンドロック解除ボタンを矢印方向へスライドさせながら
②開閉ボタンを押し
③ハンドルをいったん持ち上げてから後輪を軸に下へ押し下げます。

4 ハンドルを持ち、左右からたたみ、オートフックを掛けます。折りたたみの際は、左右のハンドルを逆手で持ち、内側にたたみます。

※ オートフックが掛かりづらい場合は、◌部のハンドルフレームを持ち、折りたたんでください。

重 要

●ベビーカーを折りたたむときは、買い物バスケットから荷物を取り出してください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因になります。

●楽に折りたためないときや引っかかり・はさみこみなどがあるときは、いったん開き、原因を確認してください。無理に折りたたむと破損するおそれがあります。

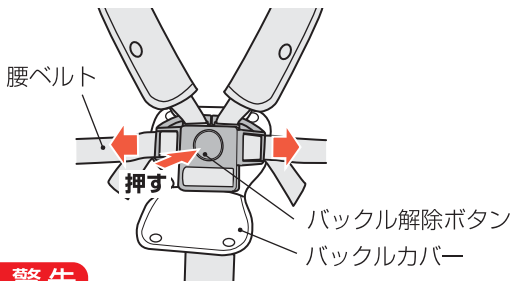
⚠警告

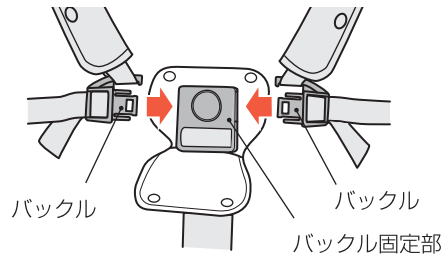
●バックルカバーは、バックル解除ボタンを乳幼児に触らせないためのものです。取り外したまま使用しないでください。
●バックルカバーは、触って固い（中に保護プレートが入っている）側が前面を向くように取り付けてください。

シートベルトの外し方

○バックルカバーを開いてバックル解除ボタンを押し、
腰ベルトのバックルを左右に引き抜きます。

シートベルトの締め方

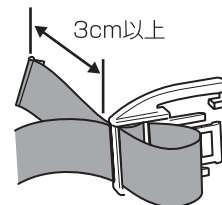
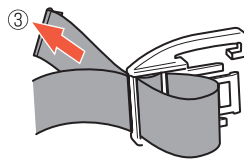
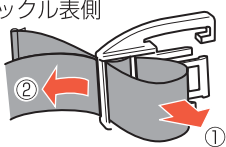
○股ベルトのバックル固定部に、左右腰ベルト先端の
バックルを差し込んでください。また、左右に引っ張り、
抜けないことを確認してから、バックルカバーを
閉じてください。

⚠警告

●必ずシートベルト（肩ベルト・腰ベルト・股ベルト・バックルカバー）を締めて使用してください。
●乳幼児が抜け出さないように、シートベルトを適切な長さに調節して使用してください。

シートベルトの長さ調節の仕方

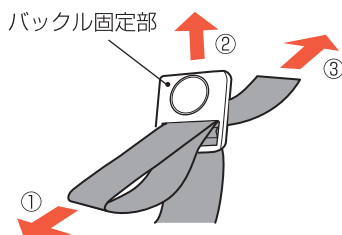
●腰ベルトの長さ調節

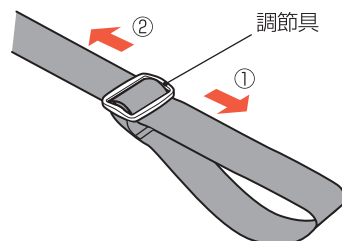
長くするときは①の方向へベルトを引き出し②の方向へ引いてください。
短くするときは③の方向へベルトを引いてください。

ベルトの端が3cm以上残るように
してください。

⚠警告

●長さ調節後、ベルトを強く引っぱり、確実に取り付けられていることを確認してから使用してください。

●股ベルトの長さ調節

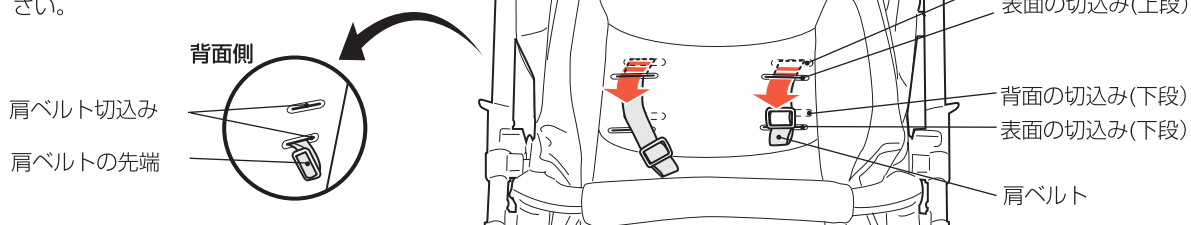
股ベルトの長さを調節するには、
①の方向に調節したい分の長さを引き出します。
長くするときには②の方向にバックル固定部を引っ張り、
短くするときには③の方向にベルトの端を引っ張ります。

●肩ベルトの長さ調節

肩ベルトの長さを調節するには、
長くするときには調節具を①の方向にずらし、
短くするときには調節具を②の方向にずらします。

肩ベルトの位置調節の仕方

肩ベルトの位置調節は、シート表面の肩ベルト切込みとシート背面の肩ベルト切込みで行います。切込みは上段どうし、下段どうしで通します。肩ベルトの先端をシートから外す場合、肩ベルトの先端を肩ベルト切込みに通してください。

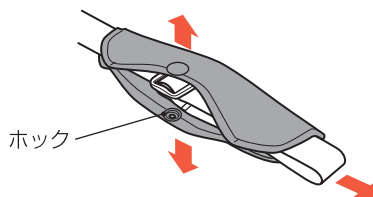
背面側

肩ベルト切込み

肩ベルトの先端

肩ベルトカバーの取外し方

バックル固定部から肩ベルト、腰ベルトを外し、肩ベルトカバーのホックを外して引き抜きます。

肩ベルトカバーの取付け方

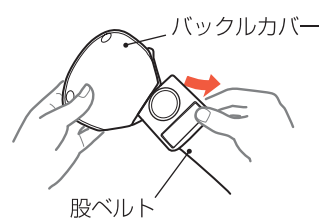
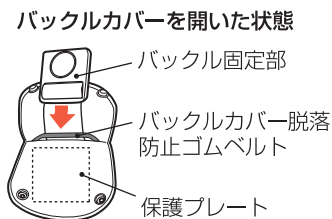
肩ベルトカバーのホックを外して側面を開き、肩ベルトを肩ベルトカバーに通してホックを閉じます。

バックルカバーの取外し方

バックルカバーのホックを外し、バックルカバー内にあるバックルカバー脱落防止ゴムベルトの引っかかりを外し、バックルカバーを外します。

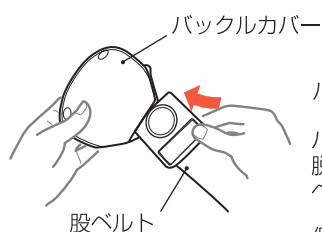
バックルカバーを開いた状態

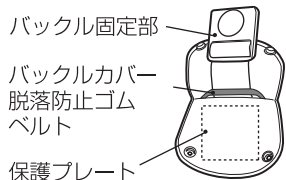
バックル固定部

バックルカバー脱落防止ゴムベルト

保護プレート

バックルカバーの取付け方

バックルカバーのホックを外し、バックルカバー内にあるバックルカバー脱落防止ゴムベルトにバックル固定部を引っかけてください。

バックルカバーを開いた状態

バックル固定部

バックルカバー脱落防止ゴムベルト

保護プレート

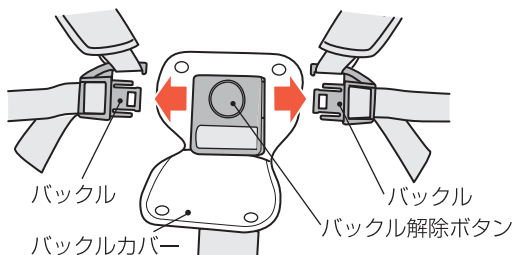
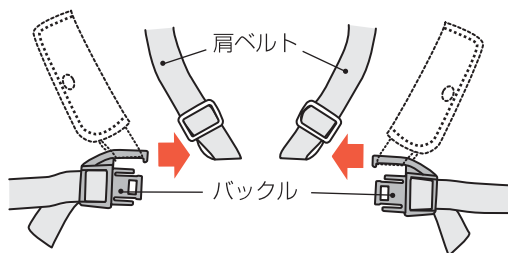
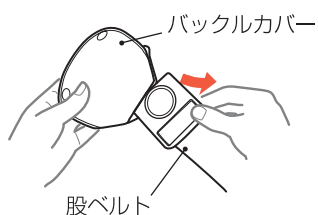
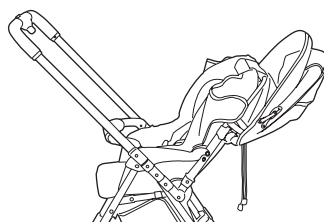
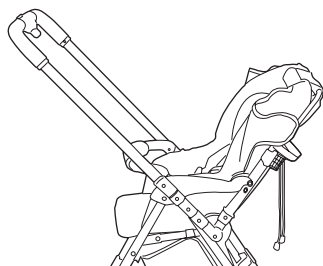
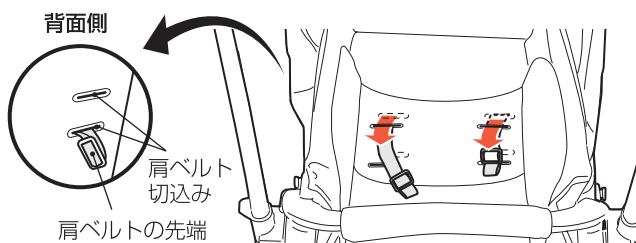
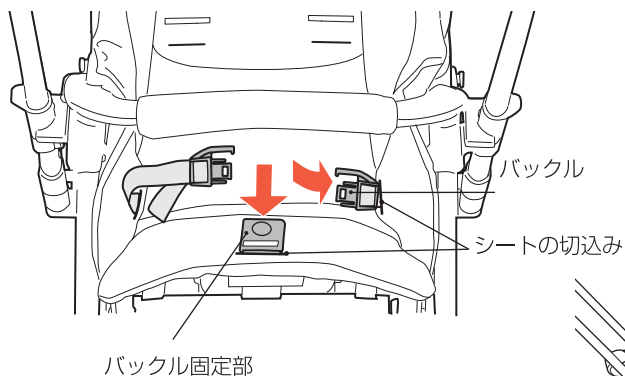
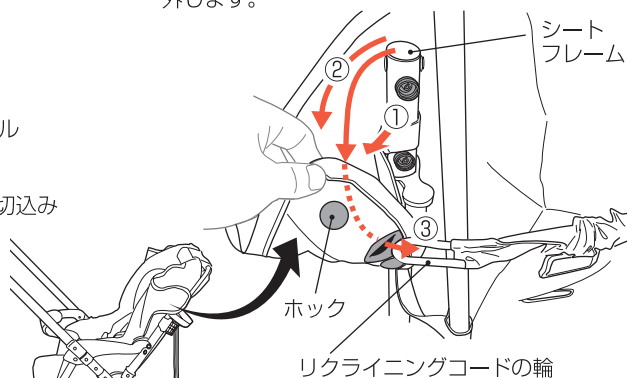
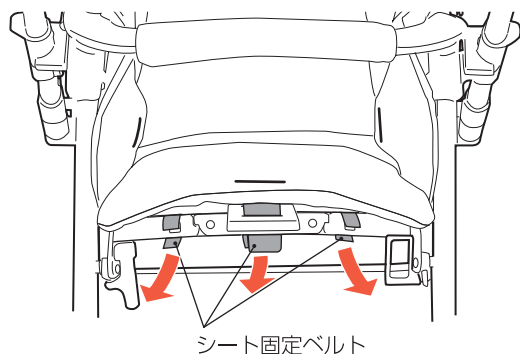
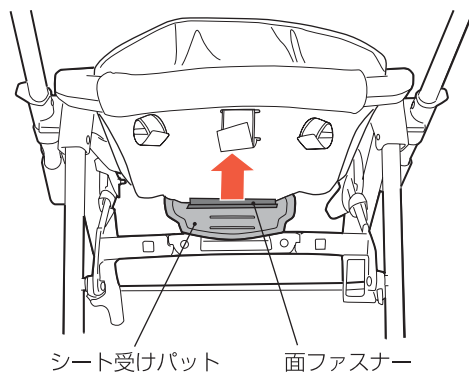
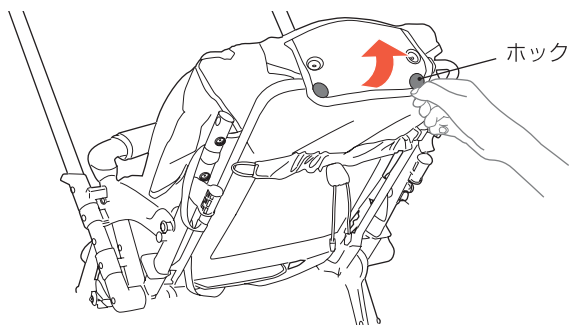
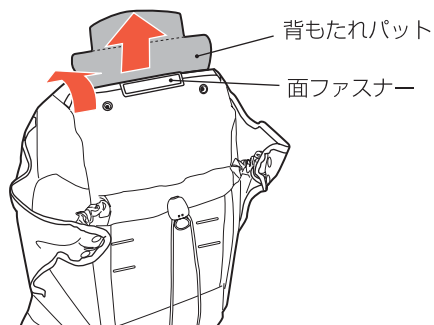
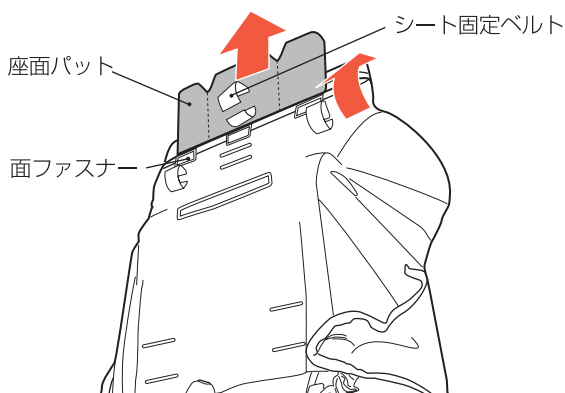
●バックルカバーにバックル固定部を挿入するときにバックルカバー脱落防止ゴムベルトを通すようにしてください。また、バックルカバー脱落防止ゴムベルトにより入れづらい場合があります。

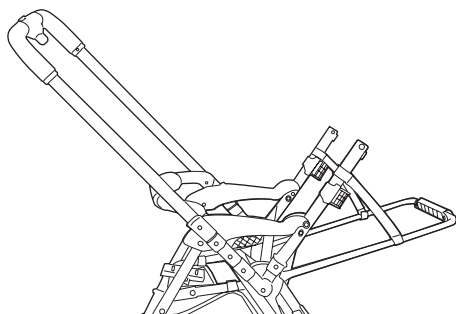
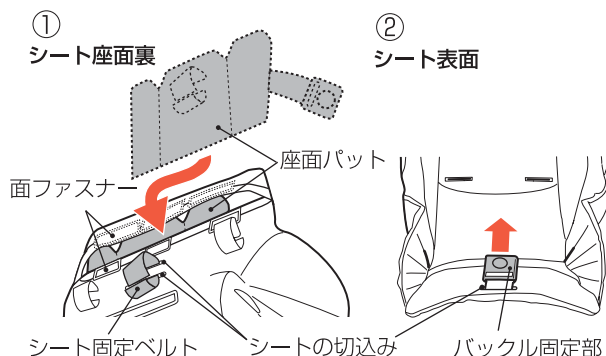
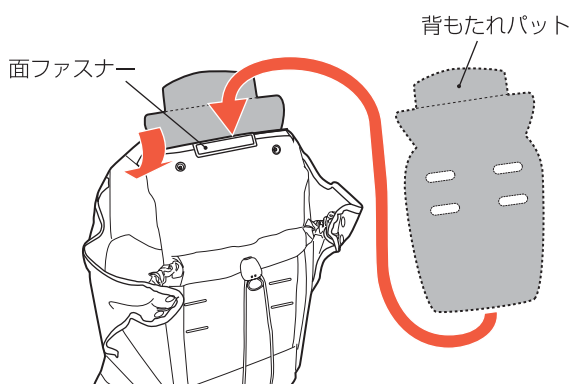
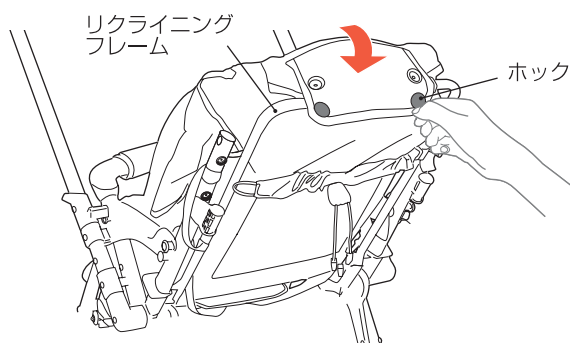
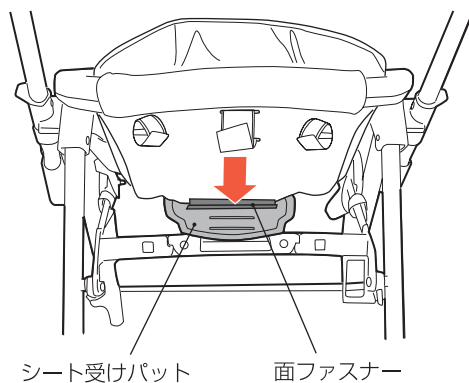
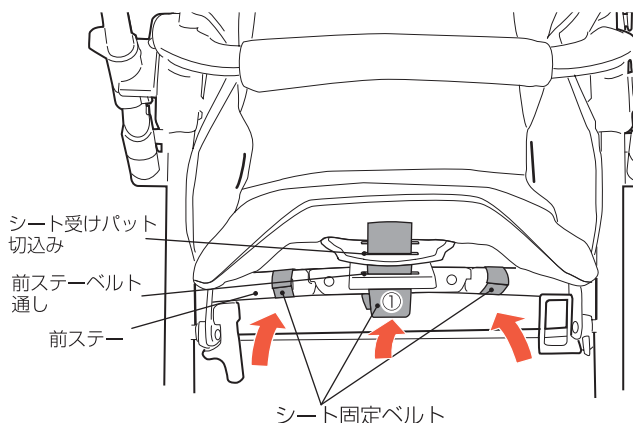
⚠警告

●バックルカバーは、バックル解除ボタンを乳幼児に触らせないためのものです。取り外したまま使用しないでください。

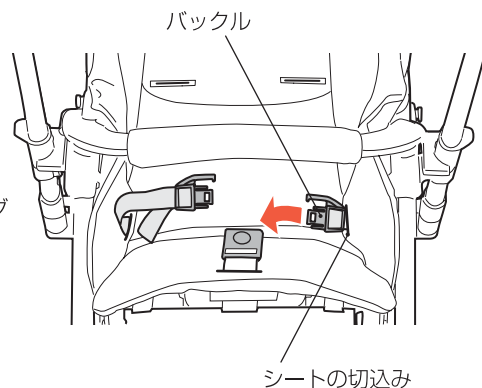
●バックルカバーは、触って固い（中に保護プレートが入っている）側が前面を向くように取り付けてください。

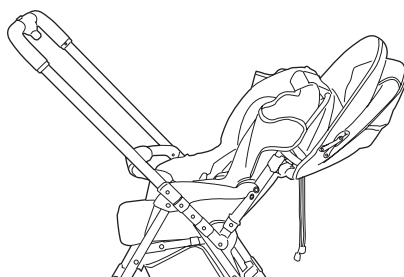
シートカバーの取外し方

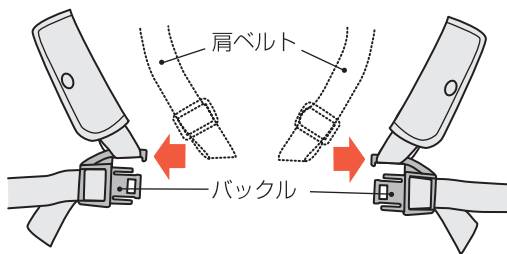
1 バックルカバーを開いてバックル解除ボタンを押し、腰ベルトのバックルを左右に引き抜きます。

2 肩ベルトを腰ベルトのバックルから横へスライドさせ外します。肩ベルトカバーも外します。

3 バックルカバーを取り外します。
（10ページ バックルカバーの取外し方 を参照してください）

4 ハンドルを対面位置にします。
（4ページ ハンドルの切替え方 を参照してください）
リクライニングを起こした状態にします。
（7ページ リクライニングの使い方 を参照してください）

5 日除けを取り外します。
（7ページ 日除けの取外し方 を参照してください）

6 シートから肩ベルトを外します。シート背面にある肩ベルトの先端を肩ベルト切込みに通して取り外します。

7 シートから股ベルト、腰ベルトを外します。
バックル固定部、バックルをシートの切込みに通します。

8 シートフレームからシートを外します。
①シートフレームのホック（2カ所）を外します。
②シートフレーム先端にかぶさっているシートを持ち上げてシートフレームから外します。
③シートフレームからリクライニングコードの輪を外します。

9 シート座面裏側にあるシート固定ベルトの面ファスナー（3カ所）を外します。

10 シート座面裏側後ろのシート受けパットの面ファスナー（1カ所）を外します。

11 背もたれ上部のホック（2カ所）を外した後、シートをフレームから取り外します。

12 シート上側の面ファスナー（1カ所）を外し、中の背もたれパットを引き出します。

13 シートを上下逆さにし、シート座面裏前側の面ファスナー（3カ所）を外し、中の座面パットを引き出します。

シートカバーの取付け方

1 ハンドルを対面位置にします。
（4ページ ハンドルの切替え方 を参照してください）

2 ①シートを上下逆さにし、シート座面裏に座面パットを差し込みます。シートの切込み（2カ所）から座面パットについているシート固定ベルトを引き出します。
②シート表面の切込みからバックル固定部を引き出し、座面裏の面ファスナー（3カ所）を閉じます。

3 シート上部から背もたれパットを差し込みます。
差し込んだ後、面ファスナー（1カ所）で閉じます。

4 フレームにシートを載せ、背もたれ上部のホック（2カ所）を留めます。ホックはシートでリクライニングフレームを覆うように留めてください。

5 シート座面裏側とシート受けパットを面ファスナー（1カ所）で取り付けます。

6 シートと前ステーをシート固定ベルト（面ファスナー3カ所）で固定します。
①のシート固定ベルトはシート受けパットの切込みに通してから、前ステーのベルト通しに通します。

7 シートフレームにシートを取り付けます。
①リクライニングコードの輪をリクライニングフレームの外側へまわし、シートの外側からシート穴に通してからシートフレームに引っかけます。
②シートフレームに引っかけた輪は上ホックと下ホックの間まで通してください。
③シートフレーム先端にシート裏のポケットをかぶせます。
④シートフレームのホック（2カ所）を留めます。

8 シートに腰ベルトを通します。バックルをシート裏面の切込みに通します。

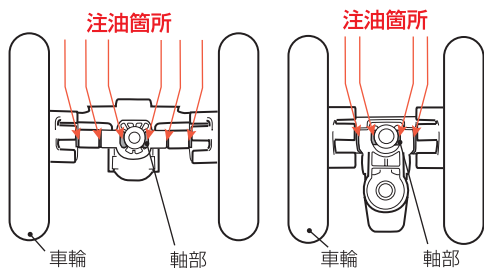
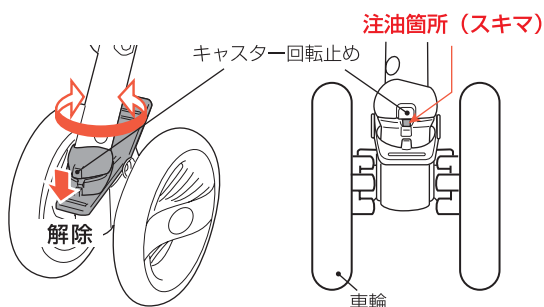
9 シートに肩ベルトを取り付けます。シート表面から肩ベルトの先端を肩ベルト切込みに通し、シート裏面から引っ張りだして取り付けます。

10 日除けを取り付けます。
（5ページ 日除けの取付け方 を参照してください）

11 バックルカバーを取り付けます。
（10ページ バックルカバーの取付け方 を参照してください）

12 肩ベルトに肩ベルトカバーを取り付け、腰ベルトのバックルに通します。

13 シートベルトを締めます。
（9ページ シートベルトの締め方 を参照してください）

⚠注意

●シートカバーは肩ベルト、腰ベルト、股ベルト、面ファスナーで外れないように固定して使用してください。
●雨・水に濡れますと色移りするおそれがあります。

お手入れ方法

○車体のお手入れ
・車輪についた砂や泥などは、そのまま放置せず、必ず落としてください。汚れがひどい場合は、汚れを落としてから水分を十分ふき取ってください。
・フレームやプラスチック部品についた汚れは、固く絞ったタオルでふき取ってください。
・リベットの割れ、ネジの緩みがないか時々点検してください。ネジの緩みは、ドライバーでしっかり締め込んでください。リベットの割れがある場合は、使用を中止してください。
・**車輪からきしみ音が発生したり回転が重くなったりした場合は、汚れをふき取った後、軸部に市販の潤滑油（シリコーンオイルなど）を少量注油してください。**
・**前輪キャスターの回転が重くなった場合は、前輪正面からも注油してください。注油する場合は、キャスター回転止めのロックを解除した際に出てくるスキマに市販の潤滑油（シリコーンオイルなど）を少量注油してください。**

○シートカバーの洗い方
・シートカバーは絵表示および注意事項にしたがって洗濯してください。

	洗濯には必ず40℃以下の水を使用してください。なお、洗濯機の場合は弱水流で、手洗いの場合は軽くもみ洗いしてください。
	漂白剤は使用しないでください。
	アイロンは使用しないでください。
	洗った後は、風通しのよいところで陰干ししてください。

● タンブル乾燥は避けてください。

○買い物バスケットのお手入れ
・液中につけず、40℃以下の湯にブラシやスポンジなどを浸し、軽く絞って汚れをふき取ってください。
・汚れた部分に洗剤を使用したときは、水を含ませた布やスポンジで洗剤が残らないように数回ふき取ってください。また、漂白剤は使用しないでください。
・乾かすときは、乾いた布で水分をふき取り、風通しのよいところで陰干ししてください。

⚠注意

●破損・異常など修理が必要なところを発見、または発生した場合、そのまま使用せず、必ずリッチェルお客様相談室（16ページを参照してください）へご連絡ください。

廃棄方法

●お住まいの各自治体の指示にしたがい、処分・廃棄してください。
●地球環境保護のため、指示された場所以外には放置しないでください。

SGマークの被害者救済制度

SGマークが表示されたベビーカーを、消費者の皆さまが正常に使用していたとき、製品の欠陥により万一事故が発生し、人身の損害を被った場合は、「製品安全協会」がその損害を賠償します。
ただしお買上げ日より4年以内です。

賠償についてのご注意

- 認定したベビーカーそのものが故障したとしても、その品質について保証するというものではありません。あくまでも障害などの身体的な損害について賠償する制度です。
- 賠償金は製品安全協会がそれぞれ実情をよく調査して、お支払いすることになります。

製品の欠陥により事故が起きた場合には

別欄の届出に必要な項目を事故が発生した日から60日以内に下記の協会または、協会が指定する所に届けてください。
製品安全協会　東京都台東区竜泉2-20-2　ミサワホームズ三ノ輪2F　〒110-0012
TEL (03)5808-3303

事故の届出に必要な項目

① 事故の原因となったベビーカーの現品
　イ) 製品の名称　ロ) 製品の購入先、購入年月日
② 事故発生の状況
　イ) 事故発生年月日　ロ) 事故発生場所　ハ) 事故発生状況
③ 被害の状況
　イ) 被害者の氏名、年令、性別、職業、住所　ロ) 被害の状況と程度

品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますのでご了承ください。
この商品の品質で、お気づきの点がございましたらお手数ですが下記までご連絡ください。

株式会社 リッチェル

富山市水橋桜木136　〒939-0592
お客様相談室/TEL(076)478-2957
受付時間:9:00～17:00(土日、祝祭日を除く)
http://www.richell.co.jp/

MADE IN CHINA

1206